

第6回「県政ひざづめ談議」  
「知事をかこむ小中学生のつどい」概要

○開催日時：平成19年8月1日 13：20～

○開催場所：身延町総合文化会館

〔司会〕

それでは「知事とみんなで語ろう」に移ります。

ここで皆さんに意見を発表してもらいますが、こんなよい所のいっぱいある山梨県ですけども、『将来、もし自分が知事になったら、さらにどんな県にしていきたいか』、そういう意見を発表していただきます。

発言は3つ取りまとめて行いますけれども、知事さんからその意見について感想をいただくという形で進めます。

たくさん意見が出ると思いますが、まず最初は少しテーマを絞りたいと思います。

自然や環境について、こんな山梨県にしていきたいなという意見を持っている方。

次に観光という形でいきたいと思えます。

そして最後に、自由に、知事になったら私はこういうことを・・・ということでテーマを設けずにいきます。

まず最初に、自分だったらどんな山梨県にしたいということで、自然や環境について私はこういう山梨にしたいという意見のある人は言ってみてください。

はい、どうぞ。

〔参加者〕

僕は人も生き物も暮らせる自然環境を守ることと、ゴミを減らすことをやりたいです。

〔司会〕

はい、ありがとう。

〔参加者〕

僕が知事になったら、今山梨にある自然を守っていきたいです。

〔司会〕

はい、もう一つ同じように自然、環境について意見を言えるところがありますか。

はい、中学生のほうでそれではお願いをします。

[参加者]

富士山は遠くから見るときれいなんですけど、実際はゴミなどが多いようなので、ゴミを減らす活動を行っていきたいです。

[司会]

はい、ありがとうございました。

今、3人の児童生徒の皆さんから意見をいただきました。

知事さんのご感想をいただければありがたいです。

[知事]

皆さん自然を守りたい、それからゴミを減らしたい、それから富士山をきれいにしたいというお話がありました。

全くその通りですね。

山梨のやはり一番貴重な財産は、この素晴らしい豊かな自然ですから、これをこれからも未来永劫に守っていかねばならないというふうに思います。

山梨県も自然を守ることには熱心な県でして、もちろん国のほうの国立公園とか国定公園とか、ああいうものはいろんな規制があって守っているわけですけども、山梨県も例えば高山植物を守る条例を全国で一番最初に作りました。

それから今は、ついこの間出来ましたけれども貴重動植物種、希少動植物種、今はもう少なくなっていて絶滅寸前になった動物や植物というのはたくさんあるんですね。

そういう貴重なものが山梨県にはたくさんあるんですね。

例えば、南アルプスの北岳の上にはキタダケソウなどという、あの地域にしかないような植物があるんですね。

そういうものが今絶滅に瀕しているというのがありますから、そういうものを保全をするという条例も、これも全国で最初に出来ました。

そういうふうなことをして自然を守る努力をしています。

また、ゴミも私達は将来はゴミゼロ社会にしたい。ゴミが全く出ない社会にもっていきたいというふうに思っております。

いっぺんにはなかなか難しいですけども、将来の方向としてはそういうふうにもっていきたい。

そのためには皆さん、県民の皆さん一人ひとりが出来るだけゴミを出さないようにする。

それから同時に、出てきたごみを出来るだけリサイクルをして、そして回収をして再利用していく。

例えば、プラスチック類みたいなものは皆さんは分けていますね、生ゴミといろいろとプラスチック類だとか缶だとか、そういうものを分別してしまってください、ゴミをね。出来るだけ分別をして、そういうものを再利用することによってゴミを出さない。そういう努力をしてもらっております。

富士山のゴミも、確におっしゃるとおり一時期非常にひどかったんですけども、い

ろいろなNPO法人、ボランティア団体が富士山の清掃を一生懸命やってくれるようになりまして、最近はかなりきれいになってきました。

私も秋には富士山の清掃に行くんです。

この間、安倍内閣総理大臣が山梨県に来て、富士山の清掃をしていきましたね。

そうやっていろんなボランティアの皆さんが富士山の清掃に一生懸命努力をしてくれております。これも大事な課題だと思っております。

それぞれ大変に貴重なご意見だと思います。

**[司会]**

ありがとうございました。

それでは、テーマを今度は山梨県の観光ということにしたいと思います。

この観光について、自分が知事だったらこういう山梨県の観光に係る良いものを作っていきたいという、そういう点で意見を持っている方は発表して下さい。

**[参加者]**

山梨県で採れる特産物とかをアピールしていければと思います。

**[司会]**

特産物ですね。

他にどうでしょうか。

**[参加者]**

山梨県には果物とかがいっぱいあるけれども、ディズニーランドのような大きい遊園地とかがないので、甲府とかの真ん中にすごい大きいテーマパークを建てて、あと桃とかぶどうとかそういうものをいっぱい置いてあったら山梨県は果物がいっぱい採れるんだなということも分かるし、山梨県の人でも遊べてすごい楽しいんじゃないかなと思います。

**[司会]**

ありがとうございました。

もう一つぐらい同じように意見がいただけますか、観光についてこうしたいという。

**[参加者]**

食べ物ミュージアムを建設し、ほうとう、果物、桃、ぶどう、さくらんぼの館を作る。横浜のラーメン博物館、カレー博物館、ナンジャタウン、スイーツ博物館のように。

[司会]

はい、ありがとう。

それでは知事さん、よろしく願いいたします。

[知事]

観光で特産物をアピールするのが一番大事なことで、やっぱり山梨は果物とワインと、それからジュエリー、宝石ね、宝石も山梨県が日本でも一番たくさん作っているんです。全国の3割を山梨で作っていますから、それをアピールすることは大事だと思います。

それから、この間私は中国へ行って山梨県の観光をアピールしてきました。

中国人は富士山というとみんな目を輝かすんですね。中国人はみんな富士山を一回は見たいと。

大体、今までは静岡のほうから箱根とかあっちから見ていたんですが、山梨のほうの富士山のほうがずっときれいだといいところをPRをさせていただきました。

そしたら、是非山梨に行ってみたいとみんな言うておりました。

そういうことの他に、大きなテーマパークを造ればいいというお話があったり、またカレーとかラーメンとか、山梨の食べ物、これはラーメン博物館というのは横浜にありましたね、そういうふうな食べ物の博物館を造れという話がありました。

なかなかテーマパークを造るとなると、非常に大きなディズニーランドとかそういうものを造るとなると、相当お金が掛かるんですね。

だから、県で造るといふわけにはなかなかいかない。県民の皆さんの税金で造るといふわけにはいかないから、やっぱり民間の会社が、そういうものを造ってくれるということになるわけです。

山梨では一番大きいテーマパークとなると富士急ハイランドですね。あれは、東京でも有名で、毎年200万人ぐらいのお客さんが来ているということです。

なかなか民間の会社が造るとなると大変なんですけれども、そういうような大きなテーマパークとか、あるいは食べ物の博物館、そういうふうなものが確かに出来ればいいなと思います。

そういう企業、そういうものを造ってくれる企業を誘致をするということ、私としては考えたいというふうに思います。

皆さんのそういうご意見はよくよく頭に入れておいて、そういう努力をしたいというふうに思います。

[司会]

はい、皆さんの希望が叶うといいですね。

テーマは今二つほど決めてやってきましたが、これからはテーマを決めません。

皆さんでそれぞれ自分の感じた、自分が知事だったらこういう山梨県にしたいという、そういう意見をどんどんいただきたいと思います。

どうでしょうか。はい、元気よく手が挙がりましたね。

〔参加者〕

最近は、いじめ問題や親が子を殺害したり、子が親を殺害したりということがあると思っています。

僕は、そういう点はどうすれば直せるだろうかと考えることがよくあります。

僕はそういうことは、多分そういう人の苦しみや悲しみを分からない心があるからだと思えます。

そういうことを直すには、どうすればいいかと僕は考えました。

それは多分、そういうような総合的な公園というものを、少年や少女が行きたくなるようなそういう公園を増やすことで、人の苦しみとかが分かる心が出るんじゃないかなと思えます。

なので僕は知事だったとしたら、そういう公園を増やして、少年、少女がとても良い心になるようにすることが出来ればいいなと思えます。

(拍手)

〔司会〕

はい、ありがとう。

〔参加者〕

自分が知事さんになったら、山梨県の面積をもっと広げて、よりよい山梨県にしていきたいです。(笑い)

〔司会〕

面積を広げるというお話が出ましたね。

はい、それでは女子の生徒ですね。中学生、お願いします。

〔参加者〕

私が知事になったら、障害を持っている方やお年寄りの方でも、快適な暮らしが出来るような県にしたいと思えます。

〔司会〕

はい、ありがとう。

それでは知事さんにまた回答をお願いします。

〔知事〕

〇〇君の意見というのは大変に貴重な意見だと思いますね。

いじめだとか、それからそういうような犯罪を犯す子供というのは、人の苦しみが分からないということだと思ふ、その通りですね。

昔ですと、おじさん達の時には子供がうんと大勢いて、兄弟も大勢いるし、子供たちでみんなで遊んだんですよ。大勢で群れて遊ぶことが多い。そうすると何かちょっとして喧嘩をしたり、相手を泣かしたりすると、ああ、やっぱり女の子を泣かしちゃいけないんだとか、弱い者をいじめちゃいけないんだと、そういうふうに自然に人の苦しみが分かるようになるんですね。

だけど今は、子供がうんと少なくなっているでしょう、兄弟もいないし、だから周りに余り子供がいない。子供だってなかなか遊ぶという機会がないんですね。

だから相手の苦しみ、他人の苦しみというのはなかなか分からない。一人だけで育っちゃっているわけですから。

そういう子供たちが、そういう事件を起こすということもあると思うんですね。

だから、公園を造るということも大事なことで、造っていかなければいけないんだけど、やっぱり子供同士が出来るだけ集まってお互いに遊んだり、勉強したり、仲間としていろんな一緒に行動するということが、私は大事だと思いますね。

学校も大事だし、それから最近は放課後子供クラブなどといって、放課後学校を開放して、学校に集まっているいろんな活動をするとか、そういうようなことをやっておりますけれども、出来るだけ公園に集まるということもいいけれども、あるいは放課後の教室に集まったっていいわけで、いろいろな子供たちが一緒に集まっているいろんな活動が出来る、そういう機会をつくっていくことが大事だと思いますね。その点は大事です。

一つだけ言うと、ただ山梨県の場合には子供の犯罪がうんと少ない。全国でも子供の人口に対して子供の犯罪が発生する割合は全国でも一番少ないんです。

だから山梨県の子供さんというのは、皆さんもみんなそうだけれども割と健全で、そういう犯罪を犯さない子供たちばかりですね。その点がおじさんの自慢の一つです。

これからもがんばって下さい。

それから、山梨県の面積を広げるといふのは、長野県へでも攻め込むかと（笑い）、武田信玄のようにですね、なるわけですが、今の時代はそうもいかない。

だから、やっぱりこれは県を広げるといふことはなかなか、広げるといふことはよその県が減るといふことだから、そうはいかないんですが、おそらく将来10年とか20年後、皆さんが大人になる時には道州制といって山梨県とか長野県とか東京都とか、そういう県はなくなっちゃって、もっと広い関東州とか、そういう大きな地域になるでしょうね。市町村はそのまま残りますよ。

市町村は残るんだけど、もう都道府県というものはなくなって、もっと広い地域になっていくと思います。

だから山梨県知事なんてなくなるんだよね。私はとてもその頃はやっていないからいいんだけど。関東州知事とか、そういうふうになる。東京とかそういうところと一緒になっているだろうと思いますね。

障害のある方やお年寄りが大事にされる、快適に暮らせる社会をつくるというのは本当

に大事なことです。

特に障害者の皆さんに対しては、いろいろな福祉対策を採ると同時にバリアフリーといっている建物や道路や、そういうものが障害者が車椅子でも何でも不自由なく歩けるように、そういうような施設も造っていかなければならない。今おっしゃったとおりだと思います。

〔司会〕

はい、ありがとうございました。

私が知事だったらこうしたいというご意見を、あと3人ほどお願いをします。

〔参加者〕

僕が知事になったらリニアモーターカーを解決したいです。

〔司会〕

ほかにあと二人。

〔参加者〕

ビルやショッピングセンターなどの施設を充実させたり、観光客や県民の憩いの場となるようなものが欲しいです。

〔司会〕

はい、ありがとう。

知事になったら、あと一人。その小学校の女の子ですね。

〔参加者〕

私が知事になったら、県民全員が親しい家族のような関係の県にしたいと思います。

〔司会〕

はい、ありがとうございました。

それでは知事さんのほうでコメントをいただければと思います。

〔知事〕

リニアモーターカーは実現をすることが大体間違いありません。

これはJR東海という鉄道会社が作るわけですが、今実験線というような実験をやっていますね。

これは19キロぐらいの長さの線路があって、そういう実験をやって、今それを42キ

ロまで実験線を延ばす工事が始まるんですね。

それで実験をするんですけれども、それからさらに先、東京と名古屋の間に2025年までと、2025年だから後18年、18年後に東京と名古屋の間をリニアで結ぶということをJR東海という会社が決めて、それをやるということにしたんですね。

というのは東海道新幹線というのが、今もう満杯になりつつある。このままいったら東海道新幹線がパンク状態になる。

だから、今のうちから東海道新幹線に代わるような、もう一本高速鉄道を作らなければいけないということで、2025年、18年後にはリニアは東京、名古屋間を走るということですね。

それから、すぐ大阪のほうにまで延伸をしていくということになりますね。

これが出来ると甲府の南に、皆さん方もつながりがある身延線とそのリニアの線の間に交差するところに駅が、どこになるか分かりませんが、出来ることになります。

こちらの地域の人達は、身延線を使えばリニアの駅に行けるということに、おそらくなるというふうに思います。東京までが15分で行くということになりますね。

それから、ビルとかショッピングセンターとか、やはり賑わいの場みたいなものを観光客の皆さんもそうだし、県民の皆さんが集えるような賑わいの場みたいなものを作ってほしいということだと思いますね。

どこの町もさびれてきているから、みんなで行って楽しいショッピングも出来たり、それから憩いの場もあったり、場合によって映画館みたいなものもあったり、そういう賑わいの場を作ってほしいということだと思います。

これはなかなか大変なことなんですが、特に私は甲府市をもっともっと賑わいの場にしないと、この関東の県庁所在地の中で一番さびれているのは甲府市なんですね。もっともっと元気な町にしなければいけない。

また身延町もまた元気な町にするように、中心市街地活性化対策ということをやろうとしているわけですが、大事な課題だと思います。

それから、県民がみんな幸せに生きていけるような地域にしていく。これは本当にその通りですね。それが政治の最後の目的だと思います。

まあ、そんなようなことですね。

#### [司会]

ありがとうございました。

それでは、ここから知事さんに自由に質問出来る時間を取りたいと思います。

その都度、ひとつずつ知事さんから答えていただきますので、一人が一回発言出来ればという貴重な時間ですので、是非たくさん意見をいただきたいと思います。

それでは、知事さんへの質問をこれから行いたいと思います。

さあ、どうでしょうか。はい、一番最初に挙がりましたね、前の男の子ですね。



[参加者]

知事さんは山梨県をどんな山梨県にしたいですか。

[知事]

一言で言うと、ちょうどスイスのような県にしたい。スイスも山国で狭い。

だけでも、スイスというのは時計をはじめとして、非常に精密機械産業、先端産業があるし、それから観光も非常に観光地も多くて、そしてヨーロッパのお金持ちはみんな、最後はスイスで暮らすことを望んでいる。

それだけ住みやすく、きれい。そして銀行も世界的な銀行がスイスにある。

そういうふうな山国で、うんと狭い国であるにもかかわらず、そういうふうな先端産業があるし、サービス業が発達しているし、それから観光もすばらしい、景色もいいし、そして農業も。またネスレなどという会社があるけれども、これは本社がスイスにあるんですね。

そういうふうな山梨県も山国ですから、狭いというか小さい県ですけれども環境が良く、自然も良く、そして観光地として大勢の人が訪れて、しかし同時に非常に先端的な企業も立地をしている。

そういうような、日本のスイスと言えるような県にしたいというふうに思いますね。

[司会]

はい、ありがとうございました。

さあそれでは次の人。はい、一番前の君、お願いします。

[参加者]

知事さんは最近気になったニュースは何ですか。

[知事]

やっぱり地震のニュースですね、中越沖地震。

山梨県も東海地震だとか、あるいは南関東地域直下の地震、そういう危険性がある県ですし、地震が発生するとこれは大きな被害が生ずる可能性があって、そのために万全の対策を取っておりますけれども、そういう災害が山梨県の場合にはここしばらく起こっていない。全国でも災害が少ない県なんですね。

それだからこそ、災害に対する備えというものを、しっかりしておかなければならないと思うんですね。

そういう意味で、地震のニュースというのが一番私にとってはショックでもあり、また気を付けなければいけないなど、気持ちを引き締めますね。

[司会]

はい、ありがとうございました。

はい、次の方どうでしょうか。

[参加者]

知事さんの仕事はどんなことですか。毎日している仕事の内容を知りたいです。

[知事]

毎日している仕事というのは、いろんなことをやっているものだから、明日は、いろいろと訪問をしてくる人に会うのと、それから県庁の職員の皆さんがこういう問題が起きましたけれどもどうしましょうかと、そういう相談に来るのと、そういうのが多いんですね。

今日午前中は、山梨市でテレビの録画をしてきました。そんなことをやっております。

[司会]

ありがとうございます。分かりましたか。

お忙しいですね、いろいろ仕事が入っていますね。

今日のこの会も、本当に空いている時間を縫って、作っていただいたような形になっています。ありがとうございます。

次はどうでしょうか。はい、君に。

[参加者]

どんな勉強をすれば知事になれるのですか。（笑い）

[知事]

これは勉強したからなれるというものでもないんですが、運が良くなければまずだめですね。選挙を勝たなければならぬから、まず運が良くなければ。

それからやっぱり選挙で勝たなければいけませんから、やっぱり人に好かれなれないといけません。

それから自分の政策をもって、山梨県で知事になったらこういうことをすると、自分の考え方をしっかり持っていなければならない。

それから、同時にやっぱりいろんな人に会わなければいけない。会って一人ひとり大勢の人に会って自分の考え方を説明をして理解をしていただく。そういうことですね。

勉強なんかしなくても、そういう努力を一生懸命やればなれるかもしれません。

[司会]

はい、よろしいですか。

はい、次の方どうぞ。

[参加者]

なぜ知事になろうと思ったんですか。

[知事]

それはやっぱり山梨県を良くしたいという、人の役に立ちたいということですね。

山梨県というのほうんといいいところがたくさんあるんだけど、それが十分生かされていないというふうに思うものだからですね、もっともっと磨けば光る玉みたいなもので、もっともっと磨けばいい県になるんですね。

ところがまだ十分磨かれていない。だから可能性が十分開かれていない。

あなたのように才能がうんとたくさんあるけれども、まだまだこの才能が開かれていない。

それと同じことで、山梨県もまだまだ県民みんなでがんばればもっといい県になるというふうに思うものですから、それを県民の皆さんと一緒にやりたいと思って知事になったということですね。

#### [司会]

それでは次の方。

#### [参加者]

山梨県は自然が豊かでいいのですが、猿、猪、カラスなどの被害がとても大きいです。対策を取って欲しいのですが、知事はどうお考えですか。（笑い）

#### [知事]

あなたの言うことは本当に正しい（笑い）。

全く今一番困っている問題の一つなんです、そういうことですね。

獣害対策、獣というのは野獣ですね。やっぱり一番大きいのが鹿なんですね。それからその次が猪、それから猿、熊、あとカラス、そういう被害が多くて、特にこちらの南巨摩、西八代はそうでもないけれども南巨摩地域は被害が大きい。特に猿の被害が大きいです。

だから、これはどうしても対策を打っていただきたいということを、多くの人達が言っています。

これは今まで市町村がやってきたんですが、例えば南部町が一生懸命やっても猿や猪や鹿はみんな隣の身延町に逃げていくんですね。身延町が一生懸命やっても今度は南部町に行ってしまう。

だから、これは全体で県が中心になって、やっていかなければならないということですね。やり方は農作物を守るために田んぼや畑に電ショック柵（電気柵）と言うんですかね、猿や猪が入れないような電気が通る柵を作るということと、それからもう一つは捕獲ですね、捕まえて、そして数を少なくするという、その二つです。

これは大変に大事な課題です。

自分の畑が荒らされたの。

#### [参加者]

学校の畑です。

[知事]

学校の畑、猿ですか。

[参加者]

はい。

[知事]

この間、あそこは南部町かな、赤ちゃんをもっているお母さんがちょっと離れたら、猿が家の中に入ってきて赤ちゃんを見ていた。

だからみんな心配しちゃうんですね。

だからそれは大変に大きな問題で、私達も一生懸命取り組みたいと考えています。

[司会]

はい、ありがとうございます。

時間も迫っていますが、他にどうでしょうか。

はい。

[参加者]

知事さんから見てこの山梨県のここがよいと思うところと、ここはよくないと思うところはどこですか。

[知事]

よいと思うところは、何ととっても東京に近くて、東京というのはやっぱり日本で一番活力がある。東京に近くて、そして自然が豊か、環境がいいということが山梨県の一番いいところだと思うんですね。

ついさっき、そのテレビの録画をしてきたといいましたが、それでその録画で会ったのは東京に長年働いていた人がこの山梨に移り住んできている人達と話をしたんですが、彼らがみんな言うのは、やっぱり東京に仕事もあったり家族もいたりするから余り遠くじゃ困る。しかし環境のいいところに住みたい。そうすると山梨が一番いいんだと言っているんですね。

そういう意味で、やっぱり山梨というのは東京に近くて、ある程度利便、便利がよくて、それでいて環境が豊かだというのが、山梨の一番いいところでしょうね。

山梨のだめなところというのは、そうですね、余りないですけども、やっぱり県民の皆さんが少し内向きなところがあって、この山梨県の中だけでものを考えたり、時には足を引っ張りあったりすることがあるので、もっと広く全国やあるいは世界に目を向けてもらいたい。

山梨で事業をやっている方々は、どんどんもっと東京とか静岡に出て行って商売をやってもらいたいというふうに思いますね。

だから皆さん方若い人達は是非、もちろん山梨で将来残って働いてもらいたいんだけど、見る目は出来るだけ広く、世界を勉強してもらいたいと思いますね。

[司会]

それでは最後の一人ということにしたいと思います。どうでしょう。

はい、その中学生の女子。

[参加者]

知事さんはいつも冷静沈着でさわやかなんですが、学生時代はどのような生徒でしたか。

また、生徒会長などをやっていましたか。

[知事]

今、小学校、中学校なんかで多動性障害ってあるじゃないですか。

じっと座っていられなくて動いていたり、それから先生のあれをなかなか聞いていなくて外を見ていたりとか、私はそういう子供だったんですよ。

それほどひどくはなかったと思うんですが、いつも先生から怒られて、廊下で「お前、水の入ったバケツを持って立ってろ」なんて言われて、要するに注意散漫なんです。そういうふうな人間。

しかし、段々年を取っていったらそれもなくなってきたんですが。そういうような人間でしたね、子供の時ですね。

それと生徒会長。中学校の時にはやりましたね。

だけど余り指導力がなくてね、私のクラスはばらんばらんで、だけどそういうクラスに限っていろいろ問題が多かったけれども、卒業してからクラスの仲間というのがうんと親しくて、長く付き合っていますね。今でも時々クラス会などを開いています。

[司会]

はい、ありがとうございます。

それでは、この質問の時間を終わらせていただきます。

次に、ここで横内知事から本日参加されている小中学生の皆さんへ、メッセージをいただきたいと思います。

知事さん、お願いいたします。

[知事]

皆さんにいろんなお話を聞かせていただきましてありがとうございました。

こうやってみると、みんな頭のよさそうな子でして、峡南地域の生徒さん達はみんな利口そうだなと。

そして、それぞれ立派なご意見を聞かせていただいてありがとうございました。

さっきもちょっと言いましたように、山梨県の子供たちというのは少年の犯罪も少なく、全国ではいろいろな子供の問題もある、これはもちろん山梨県だっていじめの問題だとか、不登校の問題というものはあるんですけども、しかし全国のほかの県と比べると、健全に子供が育っている県じゃないかなというふうに思っております。

そういう中で、とりわけこの峡南地域の皆さん方は、しっかりした考え方をみんな持っておられて、大変に心強く思いました。

これで山梨県の未来、峡南の未来は安心だなと、そういうふうに思っております。

余り教訓めいたことを言うつもりもありませんけれども、是非みんながんばって、山梨がもっといい社会になるようにと思います。

(拍手)

#### [司会]

大変に心温まるお言葉、誠にありがとうございました。

続いて本日の参加者を代表して、集い参加の感想を述べてもらいます。

では、願います。

#### [参加者]

この「知事を囲む小中学生の集い」に参加し、知事さん、皆さんのお話を聞いて改めて山梨のことを深く考えました。

私は知事さんの話の中で、山梨はとても自然を大切にしている県ということが印象に残りました。

私も、ゴミなどを減らすために物を大事にしていくことが大切だと思います。私は自然豊かな山梨が大好きです。

知事さんには、県民のみんなが「山梨が好き！」と胸を張って言えるような、素晴らしい県にしてもらいたいと思います。

知事さん、これからもお身体に気を付けてお仕事がんばって下さい。

今日はたくさんの人とも交流が出来、有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

(拍手)

#### [参加者]

今日は「知事を囲む小中学生の集い」に参加させていただいてありがとうございました。

この集いに参加し、山梨の知らなかったところなどを知ることが出来ました。

私は、山梨のことを結構知っていると思っていたけれども、まだまだ知らないところがたくさんあるなと思いました。

そして、知事さんは山梨についていろいろとよく考えていてくださり、県民である私達がより良い暮らしが送れるように、いろいろとがんばってくれていることがよく分かりました。

いつもありがとうございます。

また、今からの懇談は峡南地域の小中学校の皆さんと交流が出来る良い機会となると思います。今日の会をきっかけに、他校とのつながりもより深くしていきたいです。

知事さんとお話させていただく機会はめったにないですので、今日の集いはとても貴重なものになりました。

今日話し合ったことを忘れずに、今後の山梨の発展に私達も係っていければと思います。

今日は本当にありがとうございました。

(拍手)

[司会]

ありがとうございました。